

# 長野市自転車活用推進計画策定のためのアンケート調査結果【市民向け】（速報）

## 1) 調査の目的

長野市自転車活用推進計画の策定にあたり、長野市内の自転車交通の現状及び市民等の意識を把握し、計画に反映させることを目的として実施した。

## 2) 調査方法

- 対象者：20歳以上の長野市内在住者 2,639人
- 調査方法：郵送による配布及び回収
- 調査期間：R1/11/13（水）～12/2（月）

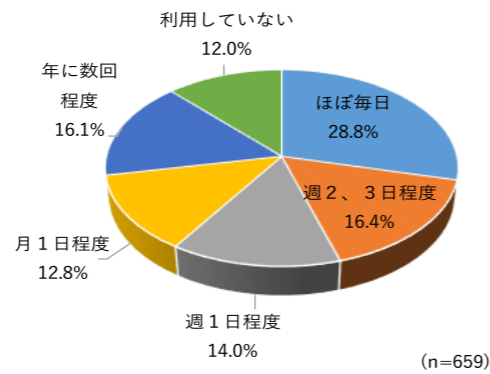
## 3) 回収数・回収率

配布数	2,639	
有効配布数	2,639	
回収数	930	
回収率	35.2%	
誤差率 (信頼度 95%)	3.2%	母集団： 276,690人

## 4) 集計結果（抜粋）

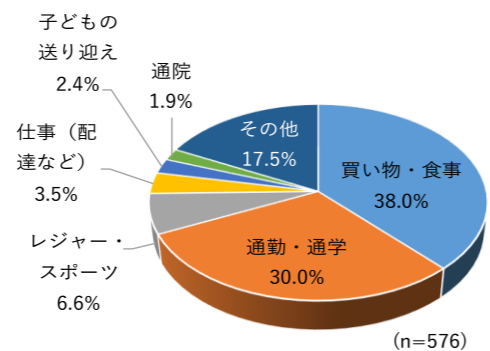
### 〔問 8〕 自転車の利用頻度

- 「ほぼ毎日」が28.8%、「週2、3日程度」が16.4%で、日常的に自転車を使用している人は回答者の45.2%であった。 p.6



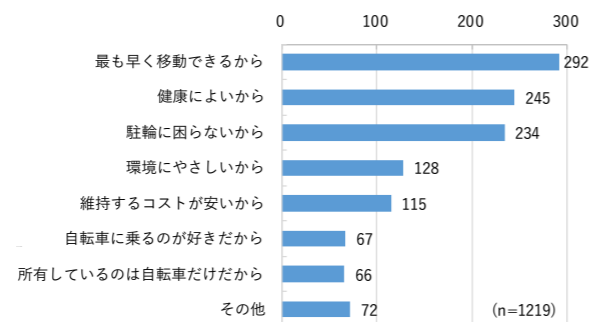
### 〔問 9〕 自転車を利用する主目的

- 「買い物・食事」が38.0%、「通勤・通学」が30.0%で、この2つの目的で7割近くであった。 p.6



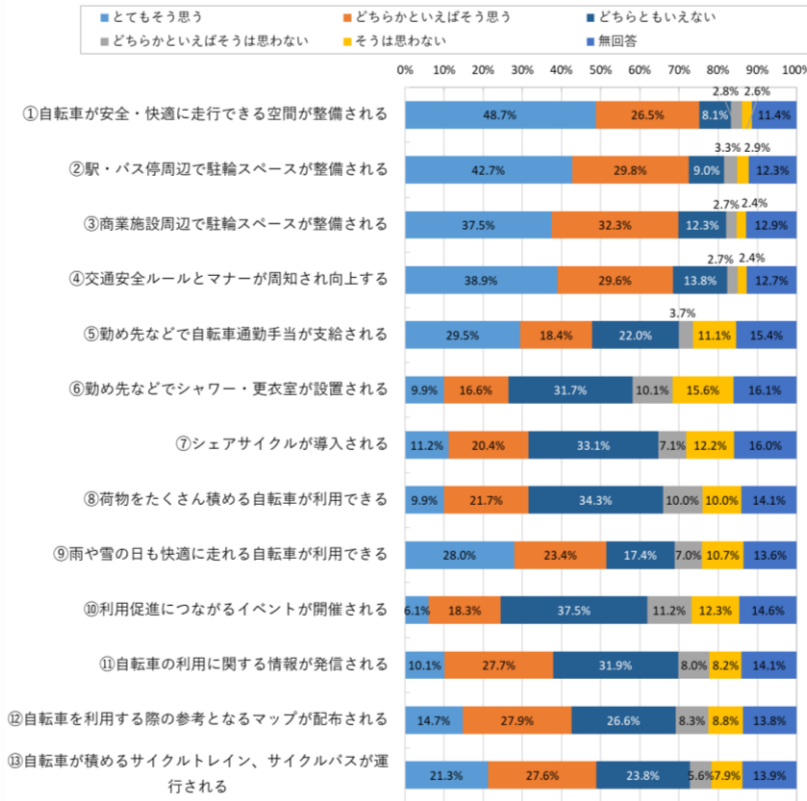
### 〔問 10〕 自転車を利用する主な理由

- 「最も早く移動できるから」が最も多く、回答者の31.4%が回答。次いで「健康に良いから」(26.3%)、「駐輪に困らないから」(25.2%)の順であった。 p.7



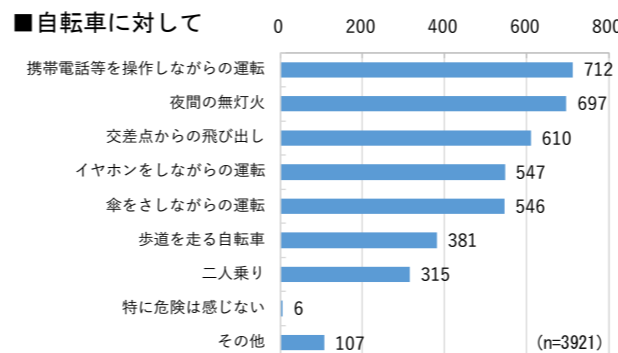
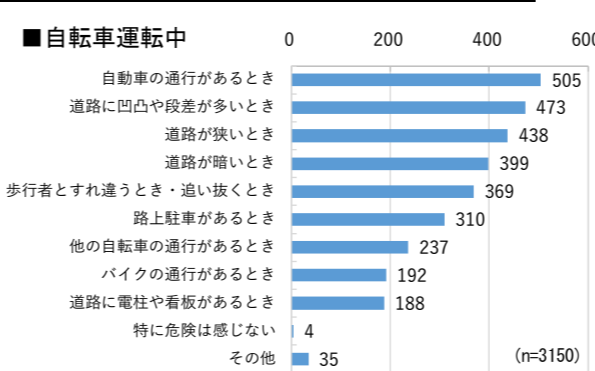
### 〔問 13〕 自転車利用促進につながる取組

- 肯定的な意見が最も多かった項目は、「①自転車が安全・快適に走行できる空間が整備される」で合計75.2%。次いで「②駅・バス停周辺で駐輪スペースが整備される」(72.5%)。
- 否定的な意見が最も多かった項目は「⑥勤め先などでシャワー・更衣室が設置される」で合計25.7%。次いで「⑩利用促進につながるイベントが開催される」(23.4%)。 p.9



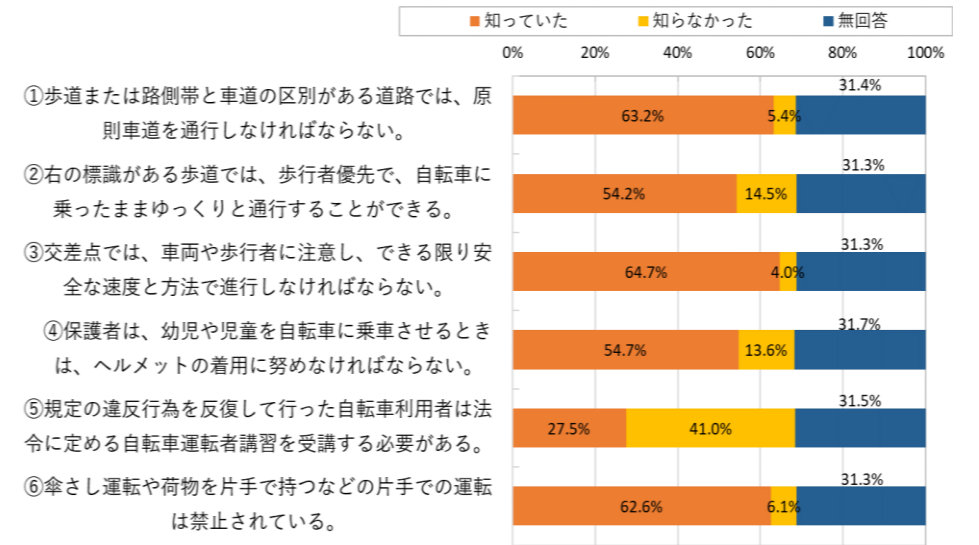
### 〔問 15・16〕 自転車走行時に感じる危険・自転車に対して感じる危険

- 最も多かった「自動車の通行があるとき」は回答者の半数以上が回答した。
- 次いで多かったのは「道路に凹凸や段差が多いとき」で半数以上の50.9%であった。 p.10
- 最も多かった「携帯電話等を操作しながらの運転」の回答数は回答者の1/4超えが回答した。
- 次いで多かったのは「夜間の無灯火」で1/4近くが回答した。 p.11



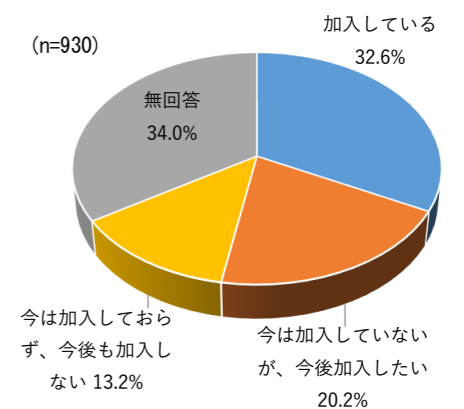
### 〔問 22〕 自転車交通ルールの認知度

- 自転車の交通ルールについては全体的に認知されており、1つの項目を除いて「知っている」が50%以上であった。 p.15



### 〔問 25〕 自転車保険への加入

- 「加入している」が32.6%で最も多かった。
- 「今は加入していないが、今後加入したい」が20.2%で、「加入している」との合計は52.8%と半数を超えており、保険に対する関心は高いといえる。 p.17



### 〔問 29〕 長野市の自転車に関する取組への満足度

- 満足の度合いが比較的高いのは「自転車の駐輪スペース」及び「自転車の走行の安全性」。
- 不満の度合いが比較的高いのは「自転車の走行の安全性」及び「自転車利用者のマナー」。 p.20

